

◆今井俊哉 委員

移住の相談件数について伺いたい。移住相談件数が昨年全国2位ということで、大変すばらしい結果と思う。資料にある支援金交付件数は、イコール移住件数ではないと思うが、実際の移住実績はどうか。

◎佐藤 ぐんま暮らし・外国人活躍推進課長

移住者数について、群馬県では平成26年度から調査を始めている。平成26年度は124人、令和4年度は1,324人となっており、着実に増えている。この数字はあくまで市町村において把握している数字ということであるが、実際の移住者も増加傾向と考えている。

◆今井俊哉 委員

移住した後に、その土地に根付いて定着していくことが一番大切だと思う。定着についてはどのように把握しているか。

◎佐藤 ぐんま暮らし・外国人活躍推進課長

定着数については把握できていない。ただし、移住支援金の受給者は基本的に5年間、その市町村に居住しない場合は返還することとなっているため、大半は一定程度定着されているのではないかと考えている。

◆今井俊哉 委員

支援金を出すのであれば、そういったある種の縛りも必要になると思う。今年度の目標はあるか。

◎佐藤 ぐんま暮らし・外国人活躍推進課長

移住希望地ランキングで第2位というところまで来たので、1位を目指すため、昨年度の数字を上回るよう努力したい。

◆今井俊哉 委員

次に、県民会館について伺いたい。見学をしてみて、非常に老朽化していると実感した。保険を引き受けてもらえないというの、いかにリスクが大きいかという状況を示していると思う。スケジュールでは7月以降に令和7年度以降の施設のあり方を検討開始とのことだが、いつまでも検討するのではなく、ある程度の期間を区切ることが大切と考えるが、どうか。

◎佐藤 文化振興課長

御指摘のとおり、早めに結論を出したいと考えているが、検討事項や関係者も多い中で、現時点で具体的なスケジュールを示すことが困難である。前橋市をはじめとした関係者と連携しながら、丁寧に検討を進めていく必要がある。